

お知らせ

コロナに
負けるな

しののめ鯉のぼりを揚げよう

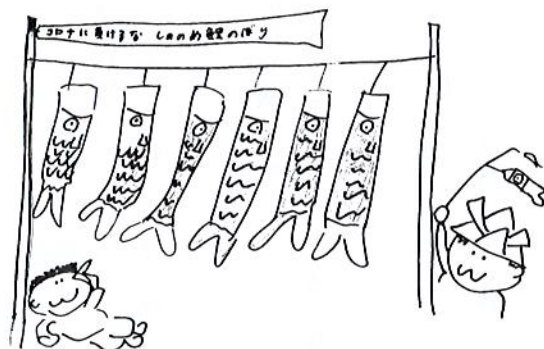
4月29日から5月末まで

新型コロナウイルス感染拡大の終息が未だ見通せず、日常生活が、マスク着用、3密回避等厳しい状況が続いています。

東雲地区社協では公民館と共催で、子どもさん・お孫さんが成長され、ご家庭で保存されている「鯉のぼり」を寄贈いただき、一堂に集め「コロナに負けるな」のメッセージを託し、東雲公園内に揚げます。

記

- 【テーマ】コロナに負けるな しののめ鯉のぼり
 【期間】令和3年4月29日から5月31日(予定)
 【場所】東雲公園内
 【ご寄贈の鯉のぼり】ご家庭で保存されている子どもさん、
 お孫さんの大切な鯉のぼり
 【問い合わせ】東雲公民館 電話 941-6630

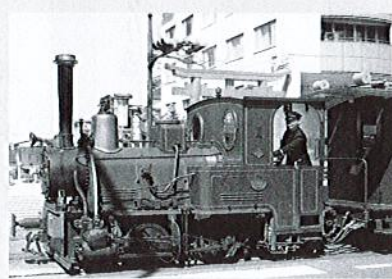


わが街自慢 22 坊っちゃんとマドンナ像 (大街道3丁目)

「マッチ箱のような汽車だった、ごろごろと五分ばかり動いたと思ったらもう降りなければならなかった、道理で切符が安いと思った。……………」

文豪 夏目漱石の中編小説「坊っちゃん」の一節である。明治28年、松山尋常中学校(現 松山東高等学校)に赴任し、教師時代の同僚をモデルに、坊っちゃん、マドンナ、赤シャツ、うらなり等がユニークに描写されている。

令和2年4月、大街道3丁目、松山城ロープウェイ東雲口駅舎の出入り口に建立され、坊っちゃんとマドンナのブロンズ像が観光客を迎えている。



勝山通りを走る坊っちゃん列車



しののめ福祉だより

サザンカ(街の木)

— 編集・発行 — 東雲地区社会福祉協議会

会長 仙波一平

我が街自慢 フォト(写真) 募集

7月末
締切

松山城を仰ぐ我が街の街並みや建物等の風景は、明治、大正、昭和、平成そして、令和への時代の中で、大きく変化しています。我が街風景を次世代に引き継ぐため、東雲地区社協では公民館と共催し、次の要領でフォト(写真)を募集します。奮ってご応募ください。

- 【テーマ】我が街自慢のフォト
 【内容】東雲地区内の街並み、建物、名所や散策中に会ったお気に入りのスポット等、次世代に引き継ぎたい風景
 【応募資格】東雲地区住民(年齢問わず)
 【応募点数】1人3点以内
 【写真サイズ等】L判カラー(スマホ写真可)
 【応募方法】応募作品(L判写真)に ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④題名及び撮影場所等簡単な写真説明を記入した応募用紙(様式自由)を添え、東雲公民館へ提出してください。

【応募締切】令和3年7月30日

【賞】1人1点

最優秀賞 1点 5,000円の商品券
 優秀賞 3点 3,000円の商品券
 佳作 5点 2,000円の商品券
 特別賞 数点 記念品

- 【審査】①第一次審査 応募作品の中から「審査委員会」で入選作品約20点を決定、「しののめ福祉だより(9月1日発行)」で発表
 ②最終審査 入選作品の中から地区住民の投票により賞を決定(投票券は9月1日発行のしののめ福祉だより)

【最終審査結果発表】第45回東雲地区文化祭会場(公民館2階会議室)
 (令和3年11月28日から12月4日の7日間)

- 【その他】①人物を撮影した場合は、本人の了解を得ること。
 ②応募作品は公民館に帰属し、公民館のイベント等に使用する。
 ③古い写真(明治、大正、昭和、平成時代)の寄贈のお願い
 近年、高層マンション建設に加え、東雲小学校、日赤松山病院、松山東警察署等、長年親しんだ建物が建て替わる中、本地区の当時の街並みや建物等の写真を次世代に引き継ぐため公民館で保存する。



※松山市地域包括支援センター 東・拓南からのお知らせ※

今年も健診を受けましょう！

健診を受けることで高血圧や糖尿病、脂質異常症などの「生活習慣病」の早期発見につながります！

健診を受けないなんてもったいない！

生活習慣病は生活習慣の改善や早期治療で重症化を防ぐことができます！

- 定期的に通院しているから大丈夫
- 2～3年に一度で、毎年はいらない



通院している人も健診の対象者です。健診を受けることで新たな病気の芽が見つかることがあります。健診は最低でも1年に1回受けましょう。病気の芽は、生活習慣の改善や早期治療で早めに摘み取ることが大切です。

- 健康に自信があり心配なところがない
- 具合が悪くなったら病院にかかるから大丈夫



生活習慣病は、自覚症状がなく静かに進行します。思い込みは禁物です。症状が出る頃には重症化していることもあります。健診で定期的に身体の変化を確認することが大切です。

- 忙しくて受ける時間が取れない



もし生活習慣病が重度化して脳梗塞・心筋梗塞などになってしまったら、治療や介護のために「時間」や「お金」がかかります。自分や家族のために1年に1回健診の日をつくってみてはいかがでしょうか。

<国民健康保険ご加入の方>

松山市保健所健康づくり推進課

TEL：089-911-1819

<後期高齢者医療ご加入の方>

松山市高齢福祉課

TEL：089-948-6941

*その他の方は医療保険の窓口や勤務先にお問い合わせください。

- 高齢者の方の健康や生活の困りごとの相談にも応じています。お気軽にご相談ください。

地域包括支援センター東・拓南 TEL：089-915-7760

第1回

ものわすれ川柳 結果発表！

小学生の部優秀作品



ものわすれ なやまないで しょうがない
八坂小学校 四年 長谷川 愛 様

ばばちゃん は 同じはなしを 繰り返して
素戔小学校 一年 内海 智晶 様

中学生の部優秀作品



あれよあれ それで通じる 母と祖母
拓南中学校 一年 梶田 美優 様

おばあちゃん 杖を忘れて 僕が杖
拓南中学校 一年 矢野 直斗 様

教えてくれた 今度は伝える 私が今を
東中学校 一年 みかん A 様

赤んぼの 次にかわいい おじいちゃん
東中学校 二年 中田 稔 様

松山市地域包括支援センター
東・拓南では、
「第1回ものわすれ川柳」を主催し、
1428句の応募がありました。

厳正なる審査の結果、
選ばれた優秀作品10句を
紹介します。

一般の部で、東雲地区から
森川美喜男さんと友成設子さんが
選ばれました。



一般の部優秀作品

ばあちゃん は 三密という密を 食べたいと言う
友成 設子 様

ものわすれ にたもの夫婦 ひき分けた
森川 美喜男 様

四電に 寄附と言いつ 消し忘れ
ボッチーくん 様

どなた様？ はにかむ笑顔に 寄り添って
松山看護専門学校 山下 日菜乃 様